江戸城かわら版
NPO法人 江戸城天守を再建する会

こんてんつ

理事長ﾒｯｾｰｼﾞ、総会・・・1,2
三浦教授特別寄稿・・・・・3
活動報告・・・・・・・・4,5
会員の広場・・・・・・・・6
新入会員、寄付者紹介・・・7

総会特集号
平成30年4月10日　第47号

「三段跳びで前進を」

理事長　島田昌幸

総会が終わって、理事長として２年目に入りました。会員の皆さんのご協力、ご支援に厚く感謝申し上げます。

今回の総会では、２つのことがポイントとなりました。１つは中期事業計画（概要）をお示ししたことです。今年は明治１５０年にあたり、江戸 - 東京の歴史にスポットが当たります。来年２０１９年には約２００年ぶりに天皇陛下の譲位があり、１１月には皇居東御苑で即位に当たっての神事である大嘗祭が行われます。２回目の大嘗祭の場となる東御苑に大きな関心が集まるでしょう。そして２０２０年は東京オリンピック・パラリンピックです。世界の視線が日本と東京に注がれます。この大きなうねりとなる３年間に私たちの運動をホップ、ステップ、ジャンプさせ２０２１年を江戸城天守再建の事業スタートの年にしたい、というのが計画の骨格です。

大嘗祭が行われる東御苑の静謐な空間を大切に保持しながら、詳細な復元図が完成している寛永度の天守閣を木造で、伝統技法と最新技術を駆使して作り上げたいという願いです。実は現在残されている東御苑の天守台には、天守閣は建ったことはありませんでした。従って新しく建てるという方が適当だと思われます。新しい天皇陛下の世紀が始まるのを祝い、東京と日本の未来に向けた平和のメッセージとして建設したい、というのが今回の中期計画に込めた思いです。

総会でのもう１つのポイントは、一般財団法人「江戸城天守再建ルネッサンス」（略称）との協力関係についてお諮りしたことです。昨年の総会では、一般財団の設立経緯に鑑み、両団体は「車の両輪」として活動していくことを確認いたしました。しかし、同十月になって一般財団は「天守と本丸御殿等の復元に向けて」とする５ヵ年基本計画を発表され、私たちの運動との路線の違いがはっきりしてきました。私たちNPOは、寛永度天守の再建に絞って運動を展開してきましたし、この方針は今後も変わりません。本丸の復元などは視野にないのです。

従って、これでは「車の両輪」として活動していくのは難しいと考えました。このことは一般財団の理事の方々にも直接お話し、今回の総会でNPO会員の皆さんにもお諮りして、了解をいただいたという次第です。今後は緩やかな協力関係として、それぞれの目標に向かって運動を深めていくことにしたいと思います。

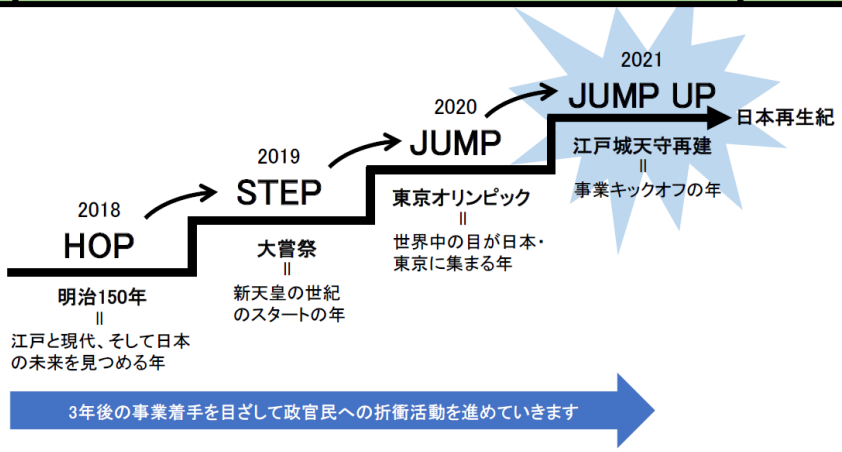
いずれにせよ、これから３年、とりわけこの１年は寛永度天守の再建に向けてとても大切な年となります。みんなで目標を共有し、ベクトルを合わせて、強力な運動にしていくことが必要です。

会員各位のご協力をお願い申し上げます。

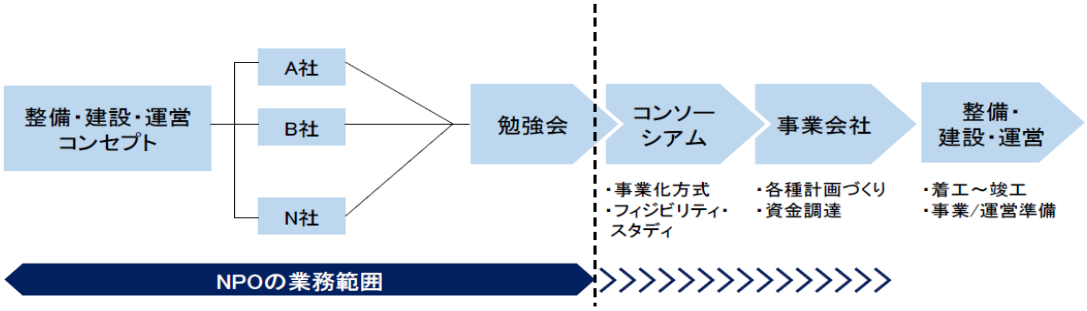
100万人賛同署名運動推進中！　44，117筆　（3月22日現在）

中期事業計画のプロセス

ホップ、ステップ、ジャンプの三年計画



事業主体設立に向けてのプロセス



総会風景

総会会場入口

松平特別顧問

採決風景

江澤支部長へ
感謝状贈呈

懇親会場

懇親会でのご挨拶

太田会長

松沢議員

一龍斎貞花先生

特別寄稿　『歴史に残る名城の天守』

＜第３回：＞「安土城天主」

広島大学大学院教授三浦正幸
（当会特別顧問）

かつての安土城は琵琶湖の入江に面した平山城で、石垣・天守・御殿・城下町を備えた日本初の本格的な近世城郭だった。織田信長が天正７年（1579）に史上初の五重天守を完成させたが、そのわずか３年後、本能寺の変に伴う混乱のなか放火で焼失してしまった。

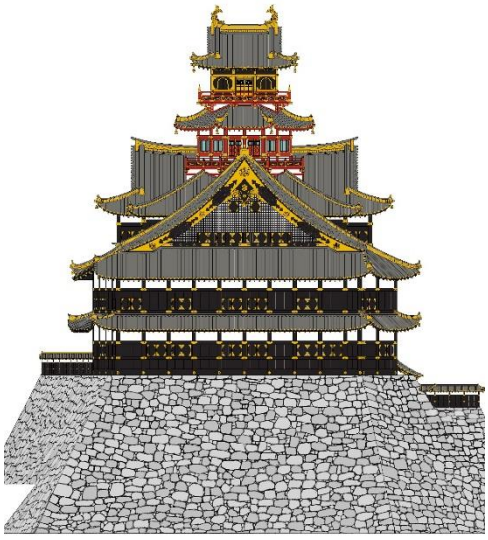
ところで、信長が永禄 12 年（1569）ごろに岐阜城の山麓に建てた四階建ての住まいに「天主」と命名したのが天守の始まりであった。それまで住まいは一階建てが常識だったので、革命的な出来事だった。信長が命名した「岐阜」（古代中国の周の文王が天下取りを祈願した岐山と孔子の故郷の曲阜に由来）とともに、「天主」は天下の支配者を目指す信長らしい名称だったが、後に天守や殿主などとも書かれるようになった。

安土城天主は、外観五重、内部は地上六階、地下一階で、階数の日本記録を一気に更新する最先端建築だった。それ以後、五重が天下人や特別な大大名の天守の基準となった。

安土城天主は、当時最大の石垣の３倍以上もの高さがある天守台上に建てられ、暴風が吹く琵琶湖畔の山頂に立地する。それは建築技術的に未知の領域への挑戦だったのである。

天守台には穴蔵を設け、天守本体の重量の大部分は石垣の上ではなく、穴蔵の地盤に直接にかかるように工夫された。また天守中央には、穴蔵から立ち上がり三階天井まで達する心柱を掘っ立てとし、強風に対抗させた。

堅い地山を削りだして天守台の芯としたので、その結果、天守の一階は不等辺八角形になってしまった。一重目（一階）と二重目（二階）はほぼ同型同大である。不等辺八角形平面に巧妙に屋根を被せているため、二重目の屋根の軒先は、天守史上で最も複雑な形に納められている。三重目（三階）は、大きな二重目の屋根とは向きを変えないと載らなかった。四階は大きな二重目と三重目の屋根裏階である。その上には城郭史上で唯一の八角形の四重目（五階）が載り、そして正方形の五重目（六階）が上がった。安土城天守の外観は、以後の天守には見られない華やかなものだった。木部はすべて贅沢な黒漆塗りで、五階の柱は赤色、六階の柱は金色だった。また極彩色の飛龍や鯱の彫刻が飾られ、屋根の頂部には、城郭史上初の鯱瓦が金箔を張られて燦然と輝いていた。



0　10　20尺　安土城天主　復元南立面図
復元：中村泰朗　2016年

天守内部は、地階は土蔵とされ、一階から三階は、当時の支配者層の住宅建築である書院造だった。内部の柱はすべて黒漆塗りとされ、襖や壁は狩野永徳に描かせた障壁画で満たされ、後世の軍事建築と化した天守とは一線を画すものであった。八角形平面の五階は仏教絵画で飾られ、六階は金箔を張られた金色の間で、中国の聖人君子が描かれていた。五階の釈迦を六階の聖人君子で足蹴にしており、天下人たる信長が君臨する姿を表すらしい。

ホームページ、フェースブックを拡充　　近藤一郎

今期の事業計画に基づいて、ホームページ、フェースブックからの情報発信を拡充します。これまでも両ツールを使って、江戸城天守再建に向けた世論喚起を行ってきましたが、今期は若者や女性にもっと読んでもらえるよう工夫を凝らし、必要な手当てを行います。昨今、スマートフォンの普及によって、当会のホームページもおよそ半数のユーザがスマートフォンからアクセスしている実態に対応します。速やかにスマホで閲覧できる画面にホームページを再構築します。また、全国のお城好きの若者や女性がお城の真実に関して深い知識を欲していることが、お城 EXPO 等での聞き取り調査からわかりましたので、そのニーズに応えられる情報の発信を開始します。「全国城郭再建情報」等テーマ別に整理して、フェースブックから発信し、ホームページにアーカイブしていきます

賛同署名活動報告　江戸城天守再建への道==国民運動として

当会活動方針の一つとして 100 万筆署名運動を目指し、可及的早期に署名 10 万筆を越えようと言う課題を掲げました。 この署名活動は昨年、それまでを大きく上回り(ほぼ倍増以上)1 万 3 千筆以上の実績を上げましたが、累計では 4 万 1 千筆余でした。今年は、この昨年実績を更に倍増させ年間 3 万筆獲得を目標に、来年には累計で 10 万筆を突破して、100 万筆へ突き進もうと言う思いです。

このためには、従来通りのイベントなどでの取組みに加え、今年から充実する支部の仕組みにも大いに期待するものであります。

更にまた、千代田区を中心に企業・団体などへ「お願い訪問」し積み上げて行くつもりです。この写真は半蔵門の「FM 東京」専務の平さんを訪問して、賛同署名などご協力をお願いした折のものです。江戸城天守再建実現のためには、賛同署名の獲得を通じて国民運動として盛り上げて行くことが結局は、早道であると心得ております。会員の皆様方のご家族、ご親類、ご友人への心強い働きかけを、宜しくお願い申上げます。

支部、支部長一覧　(23 支部)

下表の皆様に支部長を引受けて頂きました。皆様、支部長をお引受けいただけませんでしょうか。事務局までご連絡ください。

静岡沼津	水口 淳	千葉第一	江澤 廣	神奈川	望月 重公	新宿	坂本 宣子
目黒	鈴木 啓子	名古屋	成瀬 京司	荒川	清水 英男	三鷹	太田 秋男
横浜港北	阿久津 則子	千代田	尾花 憲章	墨東	塚本 一夫	八王子	吉川 政雄
横浜緑	高橋 健	武蔵野	和泉 潤一	練馬	松本 誠	立川	佐竹 茂市郎
大田	今田 謙	駒込	澤内 隆	府中	向山 寿光	川越	山浦 晴朗
飯能	市川 直是	杉並	井上 啓造	千葉第二	堤 義員		

黒田涼の「江戸散策ガイド」シリーズ　第 4 回日本橋から銀座まで

江戸城散策第 4 回は、一見お城と関わりなさそうな日本橋から銀座を歩きます。
スタートは東京メトロ三越前駅ですが、銀座線ではなく半蔵門線 B1 出口で地上に出てください。常盤橋という橋のたもとに出ます。現在の橋の上流側で、明治期に造られた石橋の修復工事中ですが、その向うに江戸城常盤橋門の石垣が残っています。この橋を通る道が江戸で最初のメインストリートです。そばにもう一つかかる橋が一石橋で、たもとに江戸時代の迷子知らせ道標があります。

次ページへ続く

前ページから続く

日本橋川の手前を歩いて日本橋に行きましょう。橋の各たもとに「魚市場跡」「道路元標」「高札場跡」などの記念物があります。
日本橋は家康によって定められた日本全国の道路の出発点でした。南側へ渡ると旧東海道で、京橋地区に入ります。東京駅に通じる八重洲通り上にはオランダ人ヤン・ヨーステンのモニュメント。まっすぐ行くと銀座の入り口のかつての京橋跡には「歌舞伎発祥の地」など多くの史跡があります。銀座通りの東側を歩くと、２丁目のティファニー前あたりに「銀座発祥の地」の碑が立っています。大倉本店側に渡り、さらに一本裏のガス灯通りに入ると復元された明治時代のガス灯にガスの火が灯っています。
南へ進んで松屋通りを右に行き、レンガ通りを越えると左に小さな路地があります。奥には江戸時代から残る宝童稲荷があります。銀座にはこうした路地が無数にあり、これが銀座の街の楽しさを支えています。路地の奥から出ると、サルと天使の像が迎えてくれます。探してみましょう。
銀座４丁目に出て左へ行くとすぐに、できたばかりのギンザシックスがありますが、実はここは一橋大学発祥の地です。こうした発祥の地が多いのも銀座の特徴です。またここまでの街区は江戸城建設と同時に家康が造った形がほぼそのまま残っているのです。
銀座６丁目交差点で交詢通りに入り、左手のトンカツ屋脇の隙間に入りましょう。これが驚異の豊岩稲荷参道です。途中自動ドアも抜けます。銀座で探検気分が味わえます。

【5 月 27 日（日）開催】

座学　10：30～11：45　散策　13：00～16：00（予定）
詳しくは同封のパンフレットをごらんください。

三鷹・武蔵野支部合同懇親会　　武蔵野支部長 和泉潤一

2 月 25 日午後 2 時～4 時　武蔵野市御殿山コミュニティセンターで開催された。　出席会員は太田・三鷹、和泉・武蔵野支部長含め会員 14 名、他に太田会長、百瀬専務理事、松本練馬支部長が参加した。まず各自己紹介と活動のコメントから始まった。太田会長から NHK 大河ドラマに「太田道灌」を働きかけていて、可能性が高いこと。これが決まれば天守再建の世論喚起になることなど。百瀬理事からはこの活動のベースとなる会員を増やすことが必須であること。同時に署名 100 万人を集める戦略の話があり、会員の意見交換に入った。建設的な意見が続出し話しは終わらず第 2 部は近くの焼鳥屋に移動した。酒もあってか再建議論は益々盛り上がり、士気を高める懇談会だった。

明治大学 江戸城天守再建活動をバックアップ

平成 30 年 2 月 6 日、山田幸夫当会顧問（久米設計会長）の紹介で明治大学土屋恵一郎学長他 5 名の皆様にお会いし、天守再建について説明させて頂き、活動をバックアップする旨のお返事を頂戴しました。大学生を中心とした若い方々の力が天守再建活動の大きな起爆剤になります。これから、活動の詳細を詰めてまいりますので、皆様のお力添えをお願いします。

会員のひろば

敬称略

素晴らしいコメントがたくさん届いております。会員のみなさまの投稿をお待ちしています。

松本　万里

江戸城再建というワクワクする心躍るような話！！1970 年代の NYC、日本の旅行会社在籍時、外国人向けに東京の魅力を発信するのが難しかった！世界に誇れる江戸文化が見直されてきた今、江戸城の存在が日本の未来を豊かにしてくれると信じます！もっと積極的に大胆に日本の大事業として盛り上げて行きたいものです。宜しくお願い致します。

三浦　裕介

私は千代田区在住・在勤者として、江戸城天守閣の再建に大賛成です。この千代田区には江戸を代表する象徴「江戸城天守閣」が必要です。これからのデジタル時代に備えて、会員の皆様と共に運営にもしっかりと協力させて下さい。新参者ではありますが、宜しくお願い申し上げます。

高橋　健　「大手門のチラシ配りは楽しいですよ！」

春が来ました。梅が咲きほこり、桜もチラホラ出番を待っています。ここは江戸城大手門、今は東御苑の入り口です。東京で一番城下町らしい風景です。天守閣再建 PR グループは、ここでチラシ配布をやっています。私もボランティアとして、この広報活動に時々参加しております。梅のシーズンには、東御苑の梅林坂が有名ですが、季節に限らずやってくる人達は、江戸城址広場を散策するのが目的でしょう。しかし、目的の場所には冷たい石垣の台座があるのみ、がっかりしつつ、お帰りになるのでしょうか。外国人の訪問も多いですね。半分は外国の観光客ではないでしょうか。私達は英文のチラシを渡しますが、江戸城の案内だと思うのか、喜んで受け取ってもらえます。時々 つたない英語で声をかけると、笑顔で何か答えてくれます。私のちょっとした楽しみです。チラシ配りは地道な活動ですが、私達の姿が東京の風物詩となって、再建運動が人々の心の中に定着していくことが望ましいですね。お暇なとき、お出かけいただき、短い時間ながら、このチラシ配りに参加しませんか。とても楽しいですよ。

チラシ配りの風景（髙橋さんは写っていません、ごめんなさい。）

新顧問のご紹介

大津　穣　「東京にも天守閣のあるお城があるといいなー。」

昨年入会をさせてもらい、皆様方と天守再建を一日も早く実現出来る様に本気に汗をかいて行こうと決心をしました。日本中にあるお城は、世界に誇れる日本の素晴らしい文化財であるといつも強く思っております。残念ながら東京にはお城の石垣は大きく広く残っていますが、天守閣が無いのは誠に残念至極です。何度も再建の気運はあったものの今日迄実現されなかったのですが、今日本は豊かになり、後世に残す新しい文化財として江戸城天守閣は最適で絶好の時期であり、又、我々の責任でもあるのではないかと感じ、皆様の姿を観て自分自身もとその気になりました。

火事で焼けてしまった江戸城を今度再建するなら絶対に焼けない、現代の最高の技術を使い、奈良の東大寺や五重塔が再建されて今日にあるように、１０００年も２０００年も３０００年も残って行く、平成の終わりから、新しい天皇の時代にかけて建てられた記念の文化財として国の費用ではなく、民間で、民活で進めるのが我々の務めであろうと意気こんで余生を駆けております。

J-CULTUR　FEST「江戸とお城特別展」開催

今年も新春早々1月2日～6日、東京国際フォーラムで「江戸とお城特別展」が盛大に開催された。2日には、千葉第一支部長江澤さんが、鏡開式典、舞台での獅子舞に参加し、お正月らしい雰囲気で会場を盛り上げた。当会ブースには、「江戸の歴史と寛永度の天守」、「日欧のお城比較」「江戸城天守と全国の再建運動」を」パネルで展示し、特にチェコ大使館から特別に展示いただいた「チェコのお城」の展示は来場者の注目の的であった。

今年も、太田資暁会長、三浦正幸教授、松平定知特別顧問から講演をいただき、

連日満席の226名参加の盛況であった。延べ60名のボランティアの皆さんの応援により、署名数４９１、配布チラシ1,400枚の成果があり、心から感謝申し上げます。

第2回横浜「お城EXPO」に出展

昨年暮れの12月22日～24日、パシフィコ横浜、会議センターで開催。当会からはブースでの展示、長谷川会員がお城ジオラマ展に参加。今年もお城マニア、歴女等日本のお城に関心のある若い人たちが参加し、5万人を超える盛況なイベントであった。当会は神奈川支部長望月さんのリーダーシップにより、署名総数1013名、チラシ配布2500枚の成果を上げた、

延べ45名のボランティアの皆さんの協力に感謝申し上げます。

◆会員のみなさまへ【お知らせとお願い】

① **会費・寄付金の決済はクレジットカードで**
カード決済が可能になりました。当会ホームページの、http://npo-edojo.org/　からどうぞ。

② **住所等変更届けのお願い**
住所・電話番号などが変更になりましたら、FAXや電話で早めに事務局までお知らせ下さい。

③ **Eメールアドレスの登録のお願い**
Eメールアドレスをお持ちの方は事務局宛にメールをお送り下さい。イベント等の情報をお送りします。

◆寄付の耳より情報:「日本の絆基金」寄付

「日本の絆基金」を利用して当NPO法人へ1万円以上ご寄付いただいた場合には、税制上の優遇措置が受けられます。翌年の確定申告で約4割が戻ります。詳細は当会ホームページの「寄付」の欄をご覧下さい。

■今後の行事予定

5/12～13	緑の感謝祭（日比谷公園）
5/26～27	岩本町ファミリーバザール
5/27	黒田涼の江戸散策シリーズ（日本橋から銀座まで）座学；午前、散策;午後
6/2～3	岩本町ファミリーバザール
7/26～29	江戸東京ウォーク（上野恩賜公園）
7/26	江戸城寄席・講談（上野　鴎外荘）
7/28	江戸城寄席・落語（上野　鴎外荘）

編集後記

新たなＮＰＯの活動として、かわら版で２つの事を紹介できることは大きな喜びです。

①三鷹・武蔵野支部での現場主導の世論喚起活動

②明治大学とのコラボによる若者中心のプロジェクトのスタート

同時に総会で、大切な今後３年間の活動方針を中期計画として発表し、新たな活動の息吹をお伝えしました。

（初鹿記）

NPO法人　江戸城天守を再建する会

〒101-0051　東京都千代田区神田神保町2-32
前川ビル３階

◇電話　03-6423-1882　◇FAX：03-6423-1897
◇メール　info@npo-edojo.org
◇ホームページ　http://npo-edojo.org
◇Facebook　http://www.facebook.com/npoedojo

東急不動産

伊場仙
創業1590年（天正18年）

皆様のご子息、お孫様、ご自身の婚活をお手伝いします　IBJ